

令和元年度第1回

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

日時：令和2年1月30日（木）
午後3時～

場所：鶴岡市役所6階大会議室

《次 第》

1 開 会

2 委嘱状交付

3 挨拶

4 委員紹介

5 委員長、副委員長の選出について

6 意見交換等

(1) 市のコミュニティ施策について

(2) 「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」の推進に向けた地域の取組状況について

(3) 地域ビジョン策定の取り組み状況

「加茂ビジョンができるまで」

加茂地区自治振興会 事務局長 佐藤 祥子 氏

(4) 鶴岡市地域コミュニティ推進計画（第2次）策定について

7 その他

8 閉 会

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会委員名簿

氏 名	役 職	備 考
保科 梧郎	鶴岡市町内会連合会	
照井 和	鶴岡市消防団副団長	欠席
齋藤 和也	鶴岡市社会福祉協議会常務理事	欠席
成田 勇	鶴岡市社会教育委員長	
清野 康子	鶴岡市教育委員・鶴岡市生涯学習推進員	
砂山 元	大鳥自然の家所長	
林 雅秀	山形大学農学部准教授	
武田 真理子	東北公益文科大学教授	
齋藤 建	鶴岡市藤島地区自治振興会会長	
井上 佳奈子	井上農場	
半澤 久之	生涯学習推進員	欠席
木村 英俊	櫛引自治公民館連絡協議会会長	
小関 祐二	六十里越街道会議会長	
佐藤 美代子	温海地域女性団体連絡協議会会長	
菅原 正彦	湯野浜地区自治会会長	
五十嵐 伊都夫	鼠ヶ関自治会長 (公募)	

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会幹事名簿

	所 属	職名	氏 名	備考
1	市民部	部長	渡会 悟	
2	市民部危機管理監	参事	早坂 進	
3	廃棄物対策課	参事	五十嵐 浩一	
4	防災安全課	課長	秋葉 敏郎	欠
5	環境課	課長	伊藤 慶也	
6	政策企画課	次長	佐藤 豊	欠
7	地域振興課	課長	鶴見 美由紀	
8	地域包括ケア推進室	次長	渡邊 健	
9	農山漁村振興課	参事	本間 明	
10	商工課	課長事務取扱	佐藤 正胤	
11	土木課	課長	仲川 繁	
12	藤島庁舎総務企画課	課長	井上 克浩	
13	羽黒庁舎総務企画課	課長	伊藤 義明	
14	櫛引庁舎総務企画課	課長	菅原 正一	
15	朝日庁舎総務企画課	課長	土田 浩和	
16	温海庁舎総務企画課	課長	粕谷 一郎	
17	消防本部警防課	課長	松田 健	
18	教育委員会学校教育課	課長	尾形 圭一郎	欠
19	教育委員会社会教育課	課長	佐藤 嘉男	

事務局

コミュニティ推進課

職 名	氏 名
課長	菅原 司
課長補佐	金内 房夫
主査	佐藤 志摩
コミュニティ専門員	加藤 明
コミュニティ専門員	佐藤 恭子
主任	斉藤 友香
主事	白幡 恵

地域庁舎総務企画課

所属職名	氏 名
藤島庁舎総務企画課総務企画専門員	工藤 仁
羽黒庁舎総務企画課主査	成澤 紀美
櫛引庁舎総務企画課主事	佐藤 千恵
朝日庁舎総務企画課主査	小野寺 智子
温海庁舎総務企画課課長補佐	齋藤 充

(1)市のコミュニティ施策について(令和元年度の取組み)

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」について、引き続き周知に努めるとともに、当該計画を踏まえ、住民主体による持続可能な地域づくりに向けた取組の支援を行い、地域の特性を活かした地域コミュニティの維持、活性化を図る。

また、新総合計画に基づく「助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進」のため、組織基盤強化と担い手の確保・育成に向けた支援に取り組んでいく。

1) 地域コミュニティ活性化の推進

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画(H28～R2)」に基づき、地域の現状を把握し、地域のあるべき姿(目標)を定め、具体的な取組事項を定める「地域ビジョン」策定支援と地域課題解決に向け体制づくりへの支援を図っていく。

①地域ビジョン策定に向けた取組について

○地域ビジョン策定済 4組織

※朝日地域、温海地域においては、平成23～25年度過疎地域集落対策事業により集落振興ビジョンを策定(朝日地域6組織、温海地域10組織)

○令和元年度地域ビジョン策定完了 1組織 加茂地区

○地域ビジョン策定中 6組織

○地域ビジョン策定を取り組む予定 11組織(うち1組織 改定)

※地域人口分析・予測シミュレーションモデル事業活用

≪関連:資料6 1. 地域ビジョンに向けた取組について≫

②鶴岡地域まちづくり未来事業の実施

「地域まちづくり未来基金」の設置目的である「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を図るため、「人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する」事業を地域まちづくり未来事業として位置づけ実施。鶴岡地域では、広域コミュニティ組織が未来に向け取り組むまちづくり(プロジェクト)を支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進する。

◇令和元年度採択件数 5件 1,668万円

≪資料2 まちづくり未来事業実施状況≫

2) 住民自治組織と広域コミュニティ組織の活動支援

住民自治組織に対し持続可能な体制整備を促すとともに、活動への支援、身近な地域課題解決に向けた取り組みを支援する。

①広域コミュニティ組織の育成・支援

鶴岡市内に33組織(鶴岡地域21、藤島地域5、羽黒地域4、朝日地域3)ある広域コミュニティ組織に対して交付する「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」について、拡充・運用の見直しを行い、組織運営の支援や地域事情に応じた様々なコミュニティ活動を支援するとともに各種研修会等の実施及び情報提供を行い、組織の育成及び機能強化に取り組んだ。

また、各地域の広域コミュニティ組織連合組織の会議等に参加し、市からの情報を提供しながら、運営や研修等に支援を行った。

◇地域づくり交付金…指定管理委託料と合わせて要員費を重点的に拡充
地域事情に配慮し、使いやすい運用に変更
事務手続きの簡素化

※「住民自治組織ステップアップ事業」については、今年度より、当該補助金を含めた3つの類似補助金を整理・統合し、「市民まちづくり活動促進事業(鶴岡まち活)」を創設した。制度の一本化により、多様な主体・形態のまちづくり活動を幅広く支援している。《資料3》

②単位自治組織の維持と負担軽減に向けた支援

世帯数や条件不利地域に配慮した「住民自治組織総合交付金」を交付し、各自治組織の特色を活かし、地域事情に応じた交付金の活用を促進するとともに、活動拠点の整備については、「公民館類似施設整備費補助金」による支援や各種補助制度等の情報を提供し、単位自治組織の維持、運営を支援している。

◇住民自治組織総合交付金(拡充)…民生費の敬老事業等補助金の統合を含む地域づくり加算の創設
防犯灯加算の増額
郊外地加算の認定替え

◇公民館類似施設整備費補助金…申請6件

③「地区担当職員制度」から「アドバイザー職員制度」へ改編 《資料4》

平成25年度に導入した、全地区へ職員を配置する「地区担当職員制度」の効果と課題を検証し、地域ビジョンや鶴岡地域まちづくり未来事業等、住民自らが主体的に取り組む地域づくり活動を重点的に支援するための制度に改編した。

また、職員のスキルアップを図るため研修を実施した。

【職員のスキルアップとして】

・地域住民との会議やワークショップ等への活用を目指すことを目的に開催

◇ホワイトボード・ミーティング®研修

7月16日(火)開催 22名受講

対象 コミュニティ担当職員・広域コミュニティ組織の事務局職員

講師 NPO法人 日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行 氏

3) 生涯学習の推進

コミュニティセンター、地域活動センターを拠点として活動する広域コミュニティ組織に「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」を交付。櫛引地域と温海地域は、単位自治組織に「公民館類似施設運営・活動費補助金」を交付し、生涯学習を支援している。

また、コミュニティセンター等を活動拠点に、住民の多様な学習活動や交流活動など事業をまとめた「生涯学習事業記録」を作成・配付し、広域コミュニティ組織等に情報提供するとともに、各地域に生涯学習推進員を配置し、運営組織(コミセン等事務局)等と連携を図りながら、地域の状況に合わせた効果的な事業展開が図られるよう支援している。その他、スキルアップの為、生涯学習推進員、生涯学習関係職員を対象とした研修会を開催した。

来年度より地方公務員法の改正に伴って推進員の身分が変わることから、推進員の体制や活動等について現状把握を行い、効果と課題を整理し、見直しを行った。

《資料5 R2年度からの生涯学習推進員について》

4) 各種研修等の実施について

①鶴岡市住民自治組織合同研修会・鶴岡市町内会連合会全員研修会・鶴岡市公民館連絡協議会研究集会 三者合同開催「防災研修会」

令和元年11月20日(木)開催 参加者153名(市職員含む)

対象 単位自治組織(町内会等)代表者・関係者、自治公民館関係者、広域コミュニティ組織関係者、その他地域づくりに関わる方等

内容 (1)講演「山形県沖の地震と新潟地震 一次の大地震を考える」

講師:鶴岡工業高等専門学校創造工学科教授 澤 祥 氏

(2)ワークショップ「災害対応ゲーム クロスロード」

講師:特定非営利活動法人ぼらんたす

②住民自治組織課題別研修会

令和元年12月16日(月)開催 参加者43名

対象 広域コミュニティ組織等関係者、地域づくりを実践している方等

内容 研修「人が集まる企画とチラシづくり」

◆人が集まる企画と効果的な広報方法

◆ダメダメチラシとビフォーアフターチラシの解説

講師:NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田 静香 氏

鶴岡市鶴岡地域まちづくり未来事業の実施状況について

「鶴岡市鶴岡地域まちづくり未来事業」とは？

地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展を図るため、“人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する事業”を“地域まちづくり未来事業”として位置付けています。鶴岡地域では、広域コミュニティ組織が未来に向け取り組むまちづくり（プロジェクト）を支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進します。

令和元年度採択事業

団体名	事業名	事業概要	採択額
三瀬地区自治会	地域ビジョンに位置付けた、三瀬駅前環境整備事業（「三瀬を発信し、三瀬ファンを迎える駅前」）	現在策定中の「三瀬地区地域ビジョン」の柱の1つである「みんなで元気を生み出し発信するまち三瀬」の具体的取組。三瀬の玄関・シンボルとなる駅が、居心地が良く元気を生み出すエリアとなることを目指し、駅前の環境整備により魅力の再発見や交流の場づくりを図るとともに、より具体的な地域ビジョンの策定に繋げる。	1,925,000 円
田川地区自治振興会	「田川太郎の里づくり」プロジェクト事業	平安時代に田川地方一帯を治めていた、歴史上の人物「田川太郎」を切り口（キーワード）として、歴史資料展示室の整備、歴史案内板の設置等のハード事業と田川太郎のキャラクター作成等のソフト事業を組み合わせ、地域の活性化及び人材育成を図る。 ※今年度は事業提案のみ、令和2・3年度に事業実施予定。	0 円
第二学区コミュニティ振興会	天神祭を中心とする活力ある地域創生プロジェクト～天神祭 人づくり プラン～	「天神祭の賑わい」を創ること、天神祭を通して「二学区の人財」を活かすこと、二学区の歴史・文化を発信し、「地域への誇り」を育てることを事業の3つの柱として、神輿担ぎ若手有志の会の組織化、親子化け物衣装やオリジナル法被、街歩きマップリーフレット等の作成に取り組み、祭を通して蓄積されてきた若い人財を将来の地域の担い手として育成するとともに地域愛や誇りを育てる。	6,842,000 円
加茂地区自治振興会	地域ビジョン実施事業	「加茂地区地域ビジョン」を策定する中で計画された5つの柱となる事業の中の2つの事業（日本遺産「北前船寄港地」追加認定周知とガイド看板設置、帆船乗組員が加茂に残した「泊町大黒舞」の継承）を実施することにより、さらなる具体的な地域ビジョンの推進を目指すとともに、地域活性化や人口減少対策に繋げていく。	628,100 円

小堅地区 自治振興 会	遊休家屋をシェアハウスに、コミセン2階をシェアスペースにー“交流”から始まる新しい関係づくり。そこから生み出す地域活動と安全・安心な暮らしー	遊休家屋のリノベーションによる若者向けシェアハウスの設置とコミセン2階に若者・子ども・子育て世代、ソトからの来訪者等が交流するスペースを設置することで、交流機能を持つ住居と空間の設置を通じ、これまで集まって話したり、一緒に活動することが少なかった若者・子ども・子育て世代あるいは来訪者をつなぎ、新しい関係性を構築する。	7,290,000 円
-------------------	--	---	-------------

令和元年度「プロジェクト策定事業」の採択状況

未来に向け取り組むまちづくり（プロジェクト）を検討・策定する事業「プロジェクト策定事業」に要する経費（研修会やワークショップ開催経費等）について、以下の通り採択しました。（上限：30万円）

No	団体名	今年度採択額
1	京田地区自治振興会	300,000 円
2	三瀬地区自治会	97,000 円
3	湯野浜地区自治会	70,000 円
4	第六学区コミュニティネットワーク	298,000 円
5	田川地区自治振興会	70,000 円
6	小堅地区自治振興会	300,000 円

市民の皆さんが行う まちづくり事業を募集します!

鶴岡まち活

「鶴岡いきいきまちづくり事業」「住民自治組織ステップアップ事業」「鶴岡パートナーズ」の3事業が「鶴岡市市民まちづくり活動促進事業」に生まれ変わります

鶴岡市市民まちづくり活動促進事業のイメージ

いきいきまちづくり事業

ステップアップ事業

鶴岡パートナーズ

窓口の一本化・制度の簡素化・審査方法の整理

鶴岡市市民まちづくり活動促進事業(鶴岡まち活)

募集内容

※詳細については「募集要領」をご確認ください。

【対象事業】

- ① 鶴岡らしさ・地域特性を生かしたまちづくり活動
- ② 若者が行うまちづくり活動や地域に関する学び
- ③ 市と協働で取り組む市施設の整備・修繕等

【対象団体】

- ①・③ まちづくり活動に取り組む、構成員の過半数が鶴岡市民である5人以上の団体
- ② 市内に在住または通学する3人以上の若者(学生)による団体・グループ

支援等の内容

【補助金の交付・原材料の支給】

- ① 補助対象経費の3分の2以内
(上限20万円・年1件のみ
上限50万円)
- ② 補助対象経費の10分の10以内
(上限10万円)
- ③ 原材料の現物支給など

応募方法

応募方法は事業により異なります

※①については、5月7日(火)までに要望書をご提出ください。

※②・③については、2020年1月31日(金)まで随時受付します。

※応募を希望される場合は、本所地域振興課または各地域庁舎総務企画課に**必ず事前にご相談ください**。

令和元年鶴岡市市民まちづくり活動促進事業採択事業一覧

1. まちづくり基本コース

番号	募集事業名	応募団体	事業概要	活用する地域特性・鶴岡らしさ	回数	決定額 (千円)
1	ツルオカ・ミーティング・ジャズコンサート	ツルオカ・ミーティング・ジャズコンサート実行委員会	○市内の地域イベントでの無料演奏会の開催 ○鶴岡まちなかキネマ・鶴岡Dadaなどで、プロ演奏家を招いてのコンサート開催 ○演奏家を招いての即興ワークショップの開催	○ジャズ演奏の愛好家の多さ ○音楽活動を継続的に行うグループの多さ	2回目	200
2	庄内の魅力発信！ おもてなしミュージカル「プリンス ハチコ」	市民参加型ミュージカル実行委員会	○昨年度の経験をもとに台本を翻訳→改訂 ○改訂翻訳台本で“おもてなし英語ミュージカル”として国内外の観光客に向け上演	○「外国人が訪れるべき日本の観光地ランキングトップ10」鶴岡市が全国8位(2019年) ○出羽三山文化の魅力の理由である神秘性	再 2回目	200
3	つるおかおしえて	つるおかおしえて実行委員会	○月1回、市民が医療等を切り口に語り合い、その中で関心の高い困りごとについて学習会を開催。内容は公開し、さらに意見等を募る ○医療×商工マッチングフォーラムの開催 ○ネットワークづくりの先進的事例講演会の開催	○鶴岡人の「恥じらい文化」等の消極的な面 ○中心市街地の活用 ○医療界顔関係団体の連携	新規	200
4	高専生によるサイエンスアカデミー ～親子で学ぼう!科学の不思議～	鶴岡高専 サイエンスアカデミープロジェクト	○学生の企画運営による未就学児～小学校低学年児童を対象にした科学教室の開催(前年を踏まえ、多くの親子が参加し、科学技術に触れられるよう内容を改善)	○地元にある高等教育機関による技術 ○地域団体との連携	2回目	152
5	温泉を活用した健康づくりと 生きがいづくりの創出	かたくり温泉ぼんぼ管理運営組合	○かたくり温泉ぼんぼの温泉効能を活用した、健康増進と健康寿命の延伸のための事業を実施 ○幅広い世代の交流の機会提供 ○参加者による企画運営のための体制づくり ○温泉効能を周知する学習会の開催	○「かたくり温泉ぼんぼ」の温泉の効能。 ○豪雪地帯の朝日地域の雪資源。 ○朝日地域の自然、特産物。	3回目	200
6	自然・文化体験活動で ふるさと魅力発見プロジェクト	特定非営利活動法人 自然体験温海コーディネット	○温海モリウミ体験フェスの開催 ○市内の子ども会をターゲットに体験活動説明会の開催 ○子ども会を対象とした体験活動のテスト運用の実施	○温海地域の先人から受け継いだ豊かな自然(海)と浜の食文化	新規	194
7	伝える人になろう講座 in 鶴岡	鶴岡にFM局をつくらうプロジェクト	○情報を的確に伝える技術を学ぶための集中講座と、情報発信を考える講演会の開催(コミュニティFMのスタッフ候補の掘りおこし)	Facebook等のSNS利用者の多さ	新規	200
8	まちづくり環境向上事業	千石町養海塚町内会	町内のゴミの分別マナー向上の取組み ○子供会と合同の勉強会 ○ごみ分別啓発看板設置 ○ごみステーション違反ゴミ調査 ○会員の意識調査	養海塚地蔵尊を守り絆を育ててきた歴史・伝統	新規	80
9	たかだてバスケットボールフェスティバル 「たかだてカップ第15回記念3×3大会」	NPO法人 たかだてスポーツクラブ	○地域施設利用団体等による実行委員会形式での3×3大会開催 ○ゲストパフォーマンスやDJによる実況中継等演出を工夫	地域の施設を利用するバスケットボール種目 チームの多さ	3回目	200
10	発酵と農業から食育を考える上映会	映画から「暮らし」を考える会	○食から教育や農業を考える映画の上映会の開催 ○上映と併せ、映画監督や生産者、管理栄養士などのトークイベントや食のイベント、マルシェなど開催	地域包括ケアなどの先進性	新規	200
11	鶴岡地域活性神輿会	鶴岡地域活性神輿会天神會	○次年度天神祭に向けた企業協賛提灯の作成 ○神輿の取扱いや作法、伝統文化を学ぶ学習会の開催 ○商店街や町内会等との交流連携	地域の知恵や昔ながらのしきたり	3回目	200
交付決定額計						2,026

2. まちづくりパートナーコース

番号	募集事業名	応募団体	事業概要	交付内容
1	田川コミセン遊歩道整備事業	田川地区自治振興会	田川コミュニティセンターと旧田川コミュニティセンターの敷地内にウッドチップを敷き遊歩道を整備	ウッドチップ50㎡(現物支給)
2	旧いこいの村庄内用地での チューリップ栽培事業	NPO法人 おうらの里おおやま再生プロジェクト	旧いこいの村庄内用地の活用として、チューリップの栽培を行うため、市関係課、関係団体等のボランティアとともに球根の植栽を実施	チューリップ球根22,500球(現物支給)

3. 若者まちづくりコース

番号	募集事業名	応募団体	事業概要	決定額 (千円)
1	イベント開催「金峯RISING@高坂農場」 黄金地域の魅力を知る×若者×交流×音楽	山形大学農学部重音楽研究会	山形大学農場フェスティバル後のステージイベント。金峯山観光協会と連携し、黄金地区住民との交流登山や会場への黄金地区紹介ブース設置等、今後の交流につなげる。	100

地区担当職員制度の検証

地区担当職員と自治組織がうまく連携して地域課題の解決に向けた活動を進めている地区がある一方、十分に活用されていない地区が多くあり、制度を見直して、効果効率の良い制度に改編していく必要がある。

アドバイザー職員制度への改編

- 地域の問題解決に向けた住民主体の地域づくり活動を促進するため、地区の要請に応じて配置された職員がアドバイス等の支援を行う「アドバイザー職員制度」を実施する。

【アドバイザー職員の役割】

支援要請があった地区に、支援内容に通じた職員が支援を行う。

地区の主体的な取り組みに対し、地域事情に応じた支援を重点的に行う。

- (1)地域ビジョン策定や事業の取組等に係る助言及び情報提供
- (2)地区の課題解決に向けた取組に係る助言及び情報提供
- (3)地域づくり活動の促進に関し必要な助言及び情報提供

※計画策定後の事業の取り組みに伴い必要な支援が生じた場合も同様に支援する。

※具体的な実施事業への参画を行うものではなく、住民 自治組織の事務局を窓口とした助言を想定

- ・住民主体の地域づくりの推進
- ・自治組織強化・地域活動の担い手確保に繋げる

アドバイザー職員制度活動状況

地区	内容	地区	内容
1(鶴)田川地区	まちづくり未来事業実施に向け、歴史資料に関する知識のある職員等を配置し、展示整備等を支援。	6(藤)東栄地区	語る会・ビジョン作成に参加。
2(鶴)京田地区	まちづくり未来事業のプロジェクト作成のための手順や話し合いの場の運営を支援。	7(羽)手向地区	昨年度からまとめている地域ビジョン策定にかかるワークショップで、進行・記録・まとめ等の運営サポート。
3(鶴)西郷地区	〃	8(羽)泉地区	今後の人口推計の情報提供や取り組み方法について助言。
4(鶴)湯野浜地区	〃	9(羽)羽黒第四地区	地域ビジョンの概要や策定状況の説明と今後の運営支援。
5(鶴)斎地区	〃		

※(鶴)第6学区、(鶴)由良地区、(藤)長沼地区、(藤)渡前地区、(温)鈴地区の5地区は、準備ができ次第支援に入る予定。

スキルアップのための研修会の開催

「ホワイトボード・ミーティング®」の基本手法を学び、地域住民との会議やワークショップ等への活用を目指すことを目的に開催。

令和元年7月16日 22名参加 対象:市コミュニティ担当職員、広域コミュニティ組織の事務局職員

1. 生涯学習推進員の身分が変わります

令和2年4月から、改正地方公務員法の施行に伴い**生涯学習推進員の身分が特別職非常勤職員ではなくなる**ことが決定しています。

<身分変更に伴う変更点>

①委嘱について

法に基づいた「委嘱」ではなくなり、鶴岡市からの「依頼」によりご協力をお願いすることとなります。

推進員の選出については、今まで通りコミセンから候補者を推薦していただきます。

②活動時の保険対応について

公務災害の保険適用外となります。なお、ここ数年は公務災害による保険適用の実績はありません。今までも活動に応じて保険をかけるなど対応して頂いておりますが**別途市で保険をかける予定をしています**。（補償内容は公務災害とほぼ同水準レベルのもの。）

2. 今後の体制や活動内容について

この度の身分変更に合わせて、推進員の体制や活動内容について現状把握及び効果と課題を整理しました。

その結果、現状維持を望む意見が大半を占めることから**推進員の体制及び活動内容は今まで通りでお願いする**方向で進めています。

3. 教員の委嘱について

鶴岡地域のみ各小学校から教員1名を推進員として選出し委嘱していますが、地域によって活動に差があることや、推進員の先生だけでなく他の先生も関わっているなどの現状を受け精査した結果、**令和2年4月からは教員への依頼は一律には行わず、当該年度に学校と連携した生涯学習事業を予定している地区については、地区のニーズに対応した推進員の配置をする**方向で進めています。

4. その他の細かな運用の見直し

活動日誌の簡素化や、活動日誌の提出時期及び活動謝金の支払時期を半年に1回にするなどの見直しを進めています。

地域づくりにつながる生涯学習の推進

生涯学習推進員 168 名

活動回数 1,401 回（活動回数は、概ね半日単位の活動を 1 回とした延べ回数）

令和元年 12 月末現在

区分	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	合計
配置地区数	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	櫛引生涯学習センター	広域コミュニティ単位	温海ふれあいセンター、地区自治会	
	21	5	4	1	3	5	39
R1 人数	79	26	19	11	16	17	168
活動回数	356	400	428	24	65	128	1,401

※ 令和元年度の生涯学習推進員の任期は 1 年（再任も可）

※ 温海地域の 4 つの地区自治会は館を持たない広域組織

○令和元年度の主な活動内容 ※_____ 特色的な事業

鶴岡地域

- ・各種講座の企画立案、運営（成人講座、高齢者講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（ちびっこ広場・第 3 学区、地域子ども会リーダー研修会・第 5 学区、親子プログラミング教室・第 6 学区、高館山少年教室・大山 等）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（夏祭り 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等（コミセン祭り、文化展 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（グランドゴルフ、運動会、軽スポーツ大会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（住民のつどい・上郷、婚活事業・郊外 15 地区 等）

藤島地域

- ・各種講座等の企画立案、運営（藤島：健康講座、東栄：地域学習講座、八栄島：陶芸教室、長沼：手芸・工芸教室、渡前：成人講座・郷土史セミナー、等）
- ・青少年育成事業等の企画立案、運営（藤島：ふじっ子祭り・親子ふれあい事業・小学生夏休み宿題塾、陶芸教室、相撲大会、逃走中、芋煮会、魚つかみ体験、そば打ち教室、東栄：アソベンチャークラブ、子どもすもう教室・大会、老人クラブの活動、八栄島：わらしっこ楽園、長沼：わんぱく広場、渡前：ドリームランド、等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等（藤島：文化講演会・センターフェスタ、東栄：芸術祭あさひ博、八栄島：活セン祭り、長沼：芸術文化祭、渡前：芸術文化祭、等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（全地区：市民運動会・グラウンドゴルフ大会、藤島：軽スポーツ大会、東栄：球技大会・冬季レク大会、冬季健康教室、八栄島：老人レク大会・冬季レク大会、長沼：軽スポーツ教室、春季・夏季ゴルフ大会、みんなでフルマラソン、ラージ

ボール卓球教室、渡前：地ふぶき祭り・ソフトボール大会・ボーリング大会・ウォーキング教室、等)

- ・地域づくり活動の企画立案、運営(全地区：あったかボランティア事業・防災救急関連事業、藤島：防災セミナー・環境問題研修会、東栄：防災研修、福祉研修会、八栄島：町内会三役研修会、長沼：救急法講演会、渡前：総合研修会、等)

羽黒地域

- ・各種講座の企画立案、運営（にこにこ料理教室、男の料理教室・手向 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（羽黒山朝山登山・手向、親子ルンルン教室・泉、こだま秋の家、こだまげんきかい蕎麦作り・第四）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（山のつどい、川で遊ぼう・全地区、クリスマス会・第四 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(各地区文化祭・広瀬・泉 等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営(学区運動会、親睦球技大会・手向、泉地区レク大会・泉、ナイターバレー・広瀬 冬季レク・広瀬・第四 等)
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（青少年を語る会・全地区、防災訓練・各地区 等）

櫛引地域（櫛引生涯学習センター実施事業）

- ・趣味の講座の企画・運営（里山歩き、フランス料理、和菓子、写真、魚料理、革キーケース、日本酒、蜜燭キャンドル）
- ・くしびき文化祭の運営
- ・仕掛人養成講座
- ・生涯学習推進員会議の開催

朝日地域

- ・各種講座の企画立案、運営
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（ジュニアキャンプ）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（文化まつり、芸能文化まつり、敬老会 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（軽スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、地区運動会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(かたくりの子四つの運動、等)

温海地域

- ・各種講座の企画立案と運営（赤かぶ大学、国際理解講座、ふれセンみんなの講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案と運営（青少年ボランティア養成講座、遊び場計画、星空観測、ハロウィンパーティ 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案と運営（軽スポーツ交流会、球技大会、地区運動会 等）
- ・温海文化祭の企画立案と運営

○生涯学習推進員の研修

<平成31年度鶴岡市生涯学習推進員委嘱状交付式並びに生涯学習関係職員合同研修会>

開催日 平成31年4月26日(金)

場 所 鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる 3階大会議室

内 容 ①事例発表(鶴岡地域第三学区、羽黒地域手向地区)
②講演「生涯学習事業の企画立案の進め方、ポイント」

講 師 廣瀬 隆人 氏(一般社団法人とちぎ市民協働研究会)

参加者 生涯学習推進員、広域コミュニティ組織関係職員、市職員など約75名

<令和元年度鶴岡市生涯学習推進員・生涯学習関係職員合同研修会>

開催日 令和元年11月21日(木)

場 所 鶴岡市第三学区コミュニティセンター 大ホール

内 容 講義及びワークショップ
「ポイントを押さえながら事業の企画・立案をしてみよう」

講 師 廣瀬 隆人 氏(一般社団法人とちぎ市民協働研究会)

参加者 生涯学習推進員、広域コミュニティ組織関係職員、市職員など約44名

(2) 鶴岡市地域コミュニティ推進計画の推進に向けた地域の取組状況について

1. 地域ビジョン策定に向けた取組について

住民自治組織	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域
単位自治組織	市街地 101 郊外地 146	61	69	21	38	27
広域コミュニティ組織	市街地 6 郊外地 15	5	4	-	3	(4) 拠点施設がなく主に生涯学習事業を実施

○地域ビジョン策定済み 4 組織

藤島地区自治振興会（藤島）、宝谷地区（櫛引）、朝日東部地区自治振興会（朝日）、越沢自治会（温海）
※朝日地域、温海地域においては、平成 23～25 年度過疎地域集落対策事業により集落ビジョンを策定 朝日地域 6 組織、温海地域 10 組織

○令和元年度地域ビジョン策定完了 1 組織

加茂地区（鶴岡）

○地域ビジョン策定中 6 組織

三瀬地区（鶴岡）、小堅地区（鶴岡）、東栄地区（藤島）、手向地区（羽黒）、羽黒第四地区（羽黒）
福栄地区（温海）

○地域ビジョン策定に取り組む予定 11 組織（うち 1 組織改定）

※地域人口分析・予測シミュレーションモデル地区事業活用

上郷地区（鶴岡）、由良地区（鶴岡）、京田地区（鶴岡）、渡前地区（藤島）、長沼地区（藤島）、泉地区（羽黒）、朝日南部自治会連絡協議会（朝日）、朝日中央地区自治振興会（朝日）、越沢自治会（温海）、温海温泉自治会（温海）、宮名自治会（温海）

【鶴岡地域】

- ・（三瀬）若者らによるワーキングチームを立ち上げ、地区役員と共に、現状や課題の整理、住民意向調査等を行い、令和元年 12 月中に中間報告会を開催。今年度に地域ビジョン完成を目指している。
- ・（小堅）鶴岡地域まちづくり未来事業実施に合わせ地域ビジョン策定への取り組みを開始。
- ・（上郷、由良、京田）地域人口分析・予測シミュレーション事業の活用。

【藤島地域】

- ・（東栄）地域づくりについての検討会（東栄語る会）を中心に、地域ビジョン策定に向けてワークショップを開催している。
- ・（渡前、長沼）地域人口分析・予測シミュレーション事業の活用。

【羽黒地域】

- ・（手向）令和元年 10 月からワークショップを開き地域ビジョン策定に取り組んできた。手向地区の魅力や問題点・10 年後の将来イメージ等を話し合い、その記録を整理・分析し『手向地区の理想像と行動計画』を編集し、令和 2 年 3 月までに完成させ、手向地区の方々に配布予定。
- ・（第四）平成 30 年 7 月より活動していたが、振興会内部の限定的な状態にしか発展できず、年齢層の

高い人による思考に偏り、未来的なビジョンづくりは難しいと判断。新年より若者中堅世代を中心に据えた会を新たに発足予定。

- ・(泉) 令和2年4月下旬評議委員会の承認を得、5月泉地区地域ビジョン策定準備委員会(仮称)を各年代男女問わず12名程度の参画で立ち上げる予定。
- ・(広瀬) 必要性には考慮も進展せず。今後も各種会議で地域課題の抽出を図っていく。

【櫛引地域】

- ・自治会長を対象とした研修会の中で、アドバイザー職員制度の周知と合わせて地域ビジョン策定に向けた検討について依頼。
- ・(宝谷) 地域人口分析・予測シミュレーション事業の活用。
- ・今後地域ビジョン策定予定地区の参考資料として、市ホームページに策定済みのビジョンを掲載予定。

【朝日地域】

- ・朝日南部自治会連絡協議会(対象:大泉地区)は、平成30年度に地域人口分析・予測シミュレーションモデル地区の決定を受け、平成31年度に地域ビジョン検討委員会を立ち上げた。
- ・朝日中央地区自治振興会(対象:大針地区)は地域支え合い活動に関するアンケートの実施等自主事業を通じ、地域ビジョン策定に向けた意識を高める活動を継続している。

【温海地域】

- ・過疎地域集落対策事業(企画部地域振興課所管)のモデル10集落については、集落ビジョンを策定済。(平成23年度策定済…暮坪、安土、木野俣)、(平成24年度策定済…槇代、小名部、山五十川)、(平成25年度策定済…鍋倉、関川、小国、峠ノ山)
- ・(越沢)平成28年度に活性化委員会を立ち上げ、アンケート調査やワークショップを行い活性化ビジョンを策定した。地域人口分析・予測シミュレーション事業を活用し、活性化ビジョンの改定に取り組む予定。
- ・(温海温泉自治会、宮名自治会)地域人口分析・予測シミュレーション事業の活用し、今後地域ビジョン策定に取り組む予定。

2. 地域の課題解決に向けた取組について

【鶴岡地域】

- ・(第一学区)平成30年度に自主防災組織の体制を見直し、各町内会から選出された本部要員による初めての避難所開設訓練を実施した。また、令和2年2月には「防災福祉研修会」も予定しており、地域を挙げて地域防災に取り組んでいる。また、交通量の多い市街地における子どもたちの安全確保として、下校の様子を見守る「おむかえ隊」の活動などにも積極的に取り組んでいる。
- ・(二学区)学区の防災訓練において避難所開設の体験を取り入れるなど、より実地的な訓練を実施する他、メール連絡網システム「マ・メール」によるコミセンと各町内会との連絡体制の構築に取り組み、防災力の強化を図る。
- ・(上郷地区)高齢者の実態を把握し今後に生かすため、平成30年8月に全世帯を対象に上郷地区高齢者実態調査アンケートを実施した(回収率70.5%)。また、平成31年1月に開催された地域づくり住民のつどいでは、「未来に繋がる夢を語ろう」ワークショップを開催し、88名の参加者が地域の未来について語り合った。

- ・(第三・第四・第六) 地区内の多様なメンバーによる避難所運営ゲーム HUG 山形県版「やまはぐ」を実施し、避難所運営の知識や心構えを学ぶとともに事前の備えの重要性等を共有。
- ・(第三・上郷) 災害対応のクロスロードワークショップを開催し、多様な考えや意見を交わすことによりお互いの理解を深めた。

【藤島地域】

- ・(藤島) 平成 28 年度に作成した、第 1 次地域づくり 5 ケ年計画(地域ビジョン)に従い、地域課題の解決に向け活動している。今年度は、活動資金に充当する収入の確保を取り入れた小学生夏休み宿題塾、高齢者宅玄関先除雪サービスに取り組む他、災害時防災マップづくり(要支援者マップ)に取り組んでいる。
- ・(東栄) 地域づくりについての検討会(東栄語る会)を立ち上げ、地域課題の洗い出しを行っている。
- ・(長沼) 小学校閉校に伴い跡地利用について検討会(長沼活性化委員会)を開催している。その検討会を生かし、地区の活性化に向け地域課題の洗い出しを行っている。

【羽黒地域】

- ・(手向) 手向地区の最大の課題は少子高齢化による人口減少である。人口減少の原因は手向に生業がない事である。生業づくりについて自治振興会だけではなく、市全体の取り組みが必要である。
- ・(泉) 地域ビジョン以外の課題は各部会で協議する。
- ・(広瀬) 豪雨、河川増水の二次避難所開設について高齢者、一人暮らし世帯の不安解消について市と課題解決に取り組み、22 集落対象の防災訓練を実施し、高専の澤教授の講習会と各集落の点呼訓練により防災意識を高めている。
- ・(第四) 今回の新たに発足する会を推し進め、次の世代による活動発展を擁護する体制を築くことにより、地域の活性化に繋がり、解決の方策が見いだせるものとする。
- ・区長会において、川西町・飯豊町に研修視察に行き、地域づくり、課題解決に向けた取り組みについて学んだ。

【櫛引地域】

- ・平成 28 年度に防災対策をテーマとし「地域づくりを考える研修会」を開催し、今後の自主防災をはじめとするコミュニティ運営を考える一助とした。
- ・複数の地区で自主防の組織再編や規約の見直しなどに着手している。
- ・令和 2 年 1 月 10 日に(株)渡会電気土木(田代工場)と田代地区自治会及び市の三者で災害時における避難者受入の協定を締結した。

【朝日地域】

- ・朝日東部地区自治振興会は、平成 31 年 4 月 1 日に「鶴岡市大網地区地域交流センター」を開館し、小さな拠点づくり事業の取組みを推進するため、地域の担い手として「ローカルデザイナー」を配置し、具体的に活動を進めている。
- ・朝日南部自治会連絡協議会、朝日中央地区自治振興会、朝日東部地区自治振興会は地域支え合い活動アンケートを実施した。それにより地域の課題を把握し、社会福祉協議会とも協働しながら具体的な活動を検討していく予定である。

【温海地域】

- ・(全集落) 温海地域の公共交通の再編に向けた研修会を開催し、今後の取組について意見交換を行った。
- ・(全自治会長参加) 防災講演会(市主催)に温海地域自治会長会の研修事業として参加し、防災意識の

高揚を図った。

- (第一地区) 廃校や空き家を利用した活動について、村上市高根地区で視察研修を行い、今後の地域づくり、課題解決に向けた取組みを学んだ。
- (第三地区) 山形県沖地震の体験談をテーマに研修を行い、今後の自主防災組織の活動の取組みについて学んだ。
- (第四地区) 山形県自主防災アドバイザーによる自主防災講演会を開催し、自主防災組織の役割について学んだ。
- (温海温泉) 自治会財政検討委員会を設置し、自治会予算の健全化に向けた検討を行っている。
- (福栄地区) 老人クラブ等を主体に健康づくりを目的に健康教室を開催し、高齢者が健康に楽しく生活できる環境づくりに取り組んだ。

地域の特性を活かした まちづくりに取り組んでいます！

☆鶴岡地域の取組み

《鶴岡地域まちづくり未来事業》

初年度は、採択5件、総額1668万円を支援しています。

- ◆三瀬地区/三瀬駅前環境整備事業「三瀬を発信し、三瀬ファンを迎える駅前」
- ◆田川地区/平安時代の歴史上の人物である「田川太郎の里づくり」プロジェクト
- ◆第二学区/天神祭を中心とする活力ある地域創生プロジェクト～天神祭 人づくり プラン～
- ◆加茂地区/地域ビジョン実施事業として、日本遺産「北前船寄港地」追加認定周知とガイド看板設置、帆船乗組員が残した“泊町大黒舞”の継承
- ◆小堅地区/遊休家屋をシェアハウスに、コミセン2階をシェアスペースに
～“交流”から始まる新しい関係づくり。そこから生み出す地域活動と安全・安心な暮らし～



未来事業プロジェクト策定事業 採択6件、総額113万円を支援しています。

- ◆京田地区/広範な分野について検討プロジェクトを設置。先進地視察やワークショップ等を開催。
- ◆三瀬地区/地域づくりプロジェクト策定にむけ、鳥取大学教授を迎えワークショップを開催。
- ◆湯野浜地区/地域の魅力・資源・地域課題の掘り起こしや取り組みについてのワークショップを開催。
- ◆第六学区/先進地である「きらりよししまネットワーク」から講師を迎えワークショップを開催。
- ◆田川地区/地元遺跡の確認調査・ガイドプレート設置場所確認・先進地視察を実施。
- ◆小堅地区/東北公益文科大学教授をアドバイザーに委嘱し、地域まちづくり事業の取り組みと地域ビジョンを策定。

《アドバイザー職員制度》

「地域ビジョン策定」や「まちづくり未来事業のプロジェクト作成」などに取り組む地区に対して、専門的な助言ができる職員を配置しています。

- ◆田川地区/未来事業実施に向け、歴史的資料に関する知識のある職員等を配置し展示整備等を支援する。
- ◆京田地区/まちづくり未来事業のプロジェクト策定のための手順や話し合いの場の運営を支援する。
- ◆西郷地区/同 上
- ◆湯野浜地区/同 上
- ◆斎地区/同 上

湯野浜地区まちづくり未来事業会議には、2名のアドバイザー職員が参加。この日は、加茂地区自治振興会佐藤祥子事務局長の講話の後、ワークショップが行われました。



《地域づくりワークショップ支援事業》

地域の現状や課題について住民自らが把握・整理する取り組みや課題解決に向けたワークショップなどの開催を支援しています。

◆加茂地区の取り組み◆

加茂ビジョン完成しました！



加茂地区では、3年にわたり住民ワークショップを重ね昨年9月に地域の目指す姿と取り組む項目をまとめた「加茂ビジョン」を完成させました。高齢者の生活支援調査や特産品開発、流行のSNS教室の開催、伝統芸能の継承など、様々な取り組みを始めています。

◆三瀬地区の取り組み◆

地域ビジョンまもなく完成予定



三瀬地区地域ビジョン「三つの心」	
「みんなの成長を喜び合い、助けあふまらさぬ」	
「みんなの力を合わせまらさぬ」	
「みんなであそぶあそびあいまらさぬ」	
実現に向けた取り組み項目意向調査票	
実施目的 以下、必要とされる取り組み項目を調査票に記載いただいた上で、本年の取り組みの進捗を調査し、実施します。	
人口減少	<input type="checkbox"/>
1 自治会・民生委員等活動の活性化を図りたいと考えています。	<input type="checkbox"/>
2 自治会・民生委員等活動の活性化を図りたいと考えていません。	<input type="checkbox"/>
3 その他	<input type="checkbox"/>
4 その他	<input type="checkbox"/>
5 その他	<input type="checkbox"/>
6 その他	<input type="checkbox"/>
7 その他	<input type="checkbox"/>
8 その他	<input type="checkbox"/>
9 その他	<input type="checkbox"/>
10 その他	<input type="checkbox"/>
11 その他	<input type="checkbox"/>
12 その他	<input type="checkbox"/>
13 その他	<input type="checkbox"/>
14 その他	<input type="checkbox"/>
15 その他	<input type="checkbox"/>
16 その他	<input type="checkbox"/>
17 その他	<input type="checkbox"/>
18 その他	<input type="checkbox"/>
19 その他	<input type="checkbox"/>
20 その他	<input type="checkbox"/>
21 その他	<input type="checkbox"/>
22 その他	<input type="checkbox"/>
23 その他	<input type="checkbox"/>
24 その他	<input type="checkbox"/>
25 その他	<input type="checkbox"/>
26 その他	<input type="checkbox"/>
27 その他	<input type="checkbox"/>
28 その他	<input type="checkbox"/>
29 その他	<input type="checkbox"/>
30 その他	<input type="checkbox"/>
31 その他	<input type="checkbox"/>
32 その他	<input type="checkbox"/>
33 その他	<input type="checkbox"/>
34 その他	<input type="checkbox"/>
35 その他	<input type="checkbox"/>
36 その他	<input type="checkbox"/>
37 その他	<input type="checkbox"/>
38 その他	<input type="checkbox"/>
39 その他	<input type="checkbox"/>
40 その他	<input type="checkbox"/>
41 その他	<input type="checkbox"/>
42 その他	<input type="checkbox"/>
43 その他	<input type="checkbox"/>
44 その他	<input type="checkbox"/>
45 その他	<input type="checkbox"/>
46 その他	<input type="checkbox"/>
47 その他	<input type="checkbox"/>
48 その他	<input type="checkbox"/>
49 その他	<input type="checkbox"/>
50 その他	<input type="checkbox"/>
51 その他	<input type="checkbox"/>
52 その他	<input type="checkbox"/>
53 その他	<input type="checkbox"/>
54 その他	<input type="checkbox"/>
55 その他	<input type="checkbox"/>
56 その他	<input type="checkbox"/>
57 その他	<input type="checkbox"/>
58 その他	<input type="checkbox"/>
59 その他	<input type="checkbox"/>
60 その他	<input type="checkbox"/>
61 その他	<input type="checkbox"/>
62 その他	<input type="checkbox"/>
63 その他	<input type="checkbox"/>
64 その他	<input type="checkbox"/>
65 その他	<input type="checkbox"/>
66 その他	<input type="checkbox"/>
67 その他	<input type="checkbox"/>
68 その他	<input type="checkbox"/>
69 その他	<input type="checkbox"/>
70 その他	<input type="checkbox"/>
71 その他	<input type="checkbox"/>
72 その他	<input type="checkbox"/>
73 その他	<input type="checkbox"/>
74 その他	<input type="checkbox"/>
75 その他	<input type="checkbox"/>
76 その他	<input type="checkbox"/>
77 その他	<input type="checkbox"/>
78 その他	<input type="checkbox"/>
79 その他	<input type="checkbox"/>
80 その他	<input type="checkbox"/>
81 その他	<input type="checkbox"/>
82 その他	<input type="checkbox"/>
83 その他	<input type="checkbox"/>
84 その他	<input type="checkbox"/>
85 その他	<input type="checkbox"/>
86 その他	<input type="checkbox"/>
87 その他	<input type="checkbox"/>
88 その他	<input type="checkbox"/>
89 その他	<input type="checkbox"/>
90 その他	<input type="checkbox"/>
91 その他	<input type="checkbox"/>
92 その他	<input type="checkbox"/>
93 その他	<input type="checkbox"/>
94 その他	<input type="checkbox"/>
95 その他	<input type="checkbox"/>
96 その他	<input type="checkbox"/>
97 その他	<input type="checkbox"/>
98 その他	<input type="checkbox"/>
99 その他	<input type="checkbox"/>
100 その他	<input type="checkbox"/>

住民意向調査票

三瀬地区では、平成29年度より地域ビジョン策定に取組み、地区内の様々な団体からワークショップ形式で意見を集約したほか、昨年8月には中学生以上の住民を対象とした「住民意向調査」を実施、12月に中間報告会を開催しています。

◆第六学区の取り組み◆

遊戯所運営を学びました！



第六学区では、遊戯所に指定されている朝陽第六小学校の平面図上に遊戯所を開設して運営するワークショップ（遊戯所運営ゲームやまはぐ。）を開催。3回講座に延べ180人が参加しました。

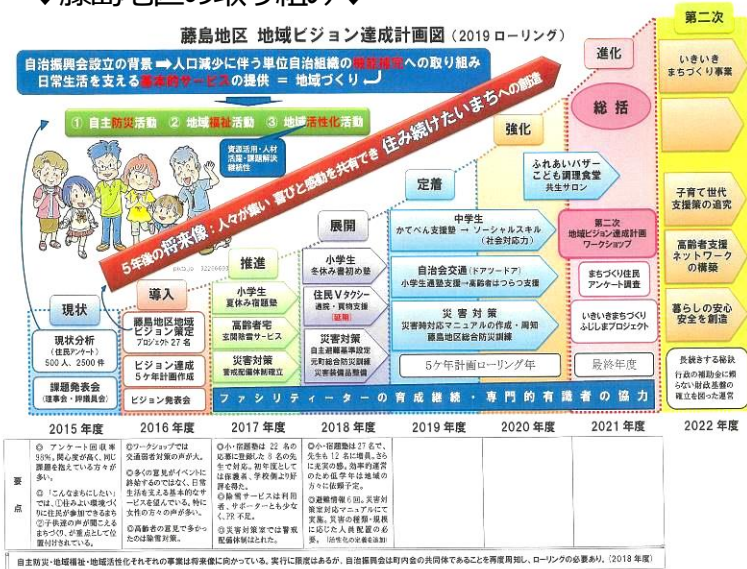
藤島地域の取り組み



まちづくりを支援しています！

《地域づくりビジョン支援》

◆藤島地区の取り組み◆



平成28年度に作成した、第1次地域づくり5ヶ年計画(地域ビジョン)に従い、地域課題の解決に向け活動している。今年度は小学生夏休み宿題塾や、高齢者宅玄関先除雪サービス、災害時防災マップづくり(要支援者マップ)に取り組んでいます。

《地域づくりワークショップ支援》

地域の現状や課題について住民自らが把握・整理する取り組みや課題解決に向けたワークショップなどの開催を支援しています。

◆東栄地区の取り組み◆



東栄地区では、地域づくりについての検討会(東栄語る会)を中心に、地域ビジョン策定に向けてワークショップを開催している。

◆手向地区の取組み

約1年半のワークショップで話し合われた内容を振り返りながら「手向集落の理想の将来像」「理想に近づくために来春から取り組むべきテーマ及び具体的な取組み」について考察・執筆を行い、2月確認、3月地域ビジョン策定を予定しています。



◆泉地区の取組み

地域部主催の人気事業の一つ「高齢者げんき塾」では今年、薬剤師の鳥海良明氏の講演で健康に対する意識づけを行った後、軽体操で体をほぐし、仲間同士の交流を通して助け合い支えあいながら暮らしていける「地域づくり」の支援を行っています。



◆広瀬地区の取組み

6月の山形県沖地震を踏まえ、「地震が起きると広瀬地区はどうなる？」をテーマに鶴岡高専創造工学科 澤洋教授の講演をいただき、日ごろの防災訓練の重要さと災害には常に最悪のイメージを持って行動することを学びました。



◆羽黒第四地区の取組み

ビジョン策定に向け11月に理事会の委員を参集し、策定目標を令和2年11月と定め、1月には各集落の30代後半から40代の年齢層の方々が参集し、地域ビジョンを作る会としてワークショップを開催しています。



櫛引地域の取り組み

◆「交通安全・防犯の日」の取り組み◆



櫛引地域では30年以上前から、毎月一日を「交通安全の日」として家の前に小旗を掲げる運動を地域全体で続けてきました。今年度は新たに防犯啓発についても加えた「交通安全・防犯の日」の小旗として一斉更新と全戸配布を行い、「明るい地域づくり櫛引大会」ではより一層の運動の推進が確認されました。

◆くしびきこしゃってプロジェクトの取り組み◆



櫛引地域において、手作りをテーマにした「農・食・手しごと」の品々が集まる市とワークショップが人気の「こしゃってマルシェ」等のイベントを開催。年4回行われるマルシェには毎回600人を超える人が訪れ、賑わいを見せています。R1には同プロジェクトが“やまがたを元気にする活動”を続けている個人や団体を表彰する「輝けやまがた若者大賞」を受賞しました。

◆宝谷地区の取り組み◆



H30に着任した地域おこし協力隊員ら若者のアイデアと行動力を活用しながら、地域づくり活動を実施。地域の高齢者が集まって体操やレクリエーションを行う「宝谷にここサロン」の開催や、在来作物やキャンプ場を活用したイベントなどを行っています。

令和元年度 朝日地域の取り組み



【朝日中央地区の取り組み】

「今日は一日コミセンの日・防災について考えよう」を9月14日(土)と28日(土)の2回にわけて開催しました。救急救命の講習会、「地震について考える」澤祥先生の講演、避難所についての説明、早期避難の重要性についての講話という充実した内容でした。



【朝日南部地区の取り組み】

「朝日大泉・大鳥地域 伝統食をつなぐ会」の開催。H27年度から始めた事業で、通算13回、のべ360人の参加者となっています。世代間交流、郷土料理の伝承、地産地消、作った料理の配食サービスなど、広がりのある事業となっています。



【朝日東部地区の取り組み】

お茶のみ広場「ふれあいサロン東部」月に1度高齢者が交流センターに集まりサロンを開催していますが、今年度は、本郷地区と湯野浜老人クラブという地域外の方達と一緒に「交流サロン」を2回開催しました。持参した大網の特産品も大変喜ばれました。



温海地域の取り組み状況

◆温海第1地区自治会の取り組み◆



温海第1地区自治会では、廃校2校(旧小学校)の活用についてと空き家の再利用について学ぶために、新潟県村上市高根地区に視察研修に行ってきました。五十川流域の自治会長など14名が参加しました。

◆温海第3地区自治会の取り組み◆



温海第3地区自治会では、地域づくり研修会を毎年開催しており、今年度は、山形県沖地震の体験談として、温海自治会長より、「自治会と自主防災会の動き」「被災者支援」などの生の声を聴きました。被害が少なかった福栄地域と沿岸地域の違いに興味深く聞いていました。

◆温海第4地区自治会の取り組み



温海第4地区自治会では、地震対応のみならず、近年、日本各地で頻繁に発生している局地的豪雨災害を想定した自主防災組織・自主防災活動を充実させるため、山形県自主防災アドバイザー小林秋雄氏を講師に自治会役員研修を12月に開催しました。

◆宮名自治会の取り組み◆



宮名自治会では、地域人口分析・予測シミュレーション中間報告会に参加し、集落の人口分析と将来予測を踏まえ、今後の定住に向けた重点世代とそのため必要な取組みについて検討しました。今後、地域ビジョン策定に取り組む予定です。

◆福栄地区の取り組み◆



福栄地区では、冬期間高齢者が家に閉じこもりがちになるため、老人クラブが主体となりICTを活用したサテライト型の健康教室を開催。高齢者が健康に楽しく生活できる環境づくりに取り組んでいます。10月から3月まで、各回2会場で計6回開催します。

(4) 鶴岡市地域コミュニティ推進計画(第2次)策定について

鶴岡市地域コミュニティ基本方針(平成25年3月策定)

持続可能な地域社会を構築するうえで重要な役割を担う地域コミュニティの維持・活性化に向けた、市民、地域、行政の共通指針。

鶴岡市コミュニティ推進計画(平成28年3月策定)

鶴岡市地域コミュニティ基本方針を推進するために、令和2年度までの5年を見据え、各地域の現状に合わせ、その特性や事業に配慮した地域コミュニティに係る取組みを定めたもの。



社会経済情勢や地域コミュニティを取り巻く環境の変化等に対応するため、5年ごとに計画の見直しを行うこととしている。

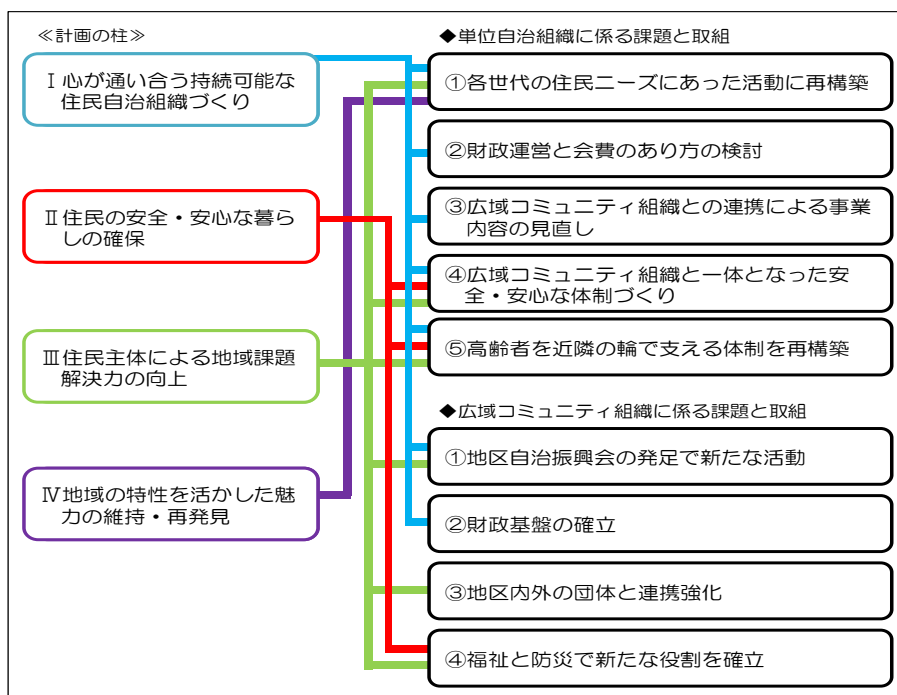
鶴岡市コミュニティ推進計画(第2次)(令和3年3月策定予定)

次の5年間(令和3年度～令和7年度)の、地域コミュニティに係る取組みと目指すコミュニティ像を定める。

○第2次計画の策定の手順

1. 本計画に基づく5年間の取組みを評価・検証する。
 - 鶴岡地域P25、藤島地域P31、羽黒地域P37、楡引地域P42、朝日地域P46、温海地域P51の【計画の構成】の◆課題と取組み項目
 - ・アンケート等による意識調査、実態調査
 - ・地域の取組の先駆的事例、地域コミュニティ活動の活性化に効果的な取組み事例の情報収集
2. 新たな課題、取組みの洗い出しをする。
 - ・アンケートやヒアリング等で地域の目標や新たな課題を情報収集
 - ・社会経済情勢や地域コミュニティを取り巻く環境の変化を分析
3. 第2次計画(案)の作成。
4. 第2次計画の確認。

<参考: 推進計画P31 藤島地域の計画の構成>



(4) 鶴岡市地域コミュニティ推進計画（第2次）策定について（案）

☆策定作業スケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
策定活動	内容	課題と取組の評価・検証			計画の柱・課題と取組の洗い出し				計画①（案）の作成・検討			計画②（案）の作成・検討		策定	
	住民自治組織	住民自治組織にアンケート依頼	アンケート取りまとめ	評価・検証	住民自治組織にアンケート等依頼	アンケート取りまとめ	項目の整理（継続）（新規）						最終調整・確認		
	市	市の施策の実績作成		評価・検証	関係各課WS	※ヒアリングで補充	項目の整理	関係各課WS →他計画との整合性 →計画①（案）の作成				パブリックコメント	最終調整・確認 →関係各課の確認		
地域コミュニティ活性化推進委員会				第1回委員会 現計画の評価と検証 説明・意見聴取				第2回委員会 2次計画の洗い出し 説明・意見聴取			※第3回委員会 2次計画（案）1回目 意見聴取 または、書面会議		第4回委員会 2次計画（案）2回目 意見聴取・最終確認		

※委員会開催後、アンケートやヒアリング実施等、策定作業への協力を住民自治組織へ協力をお願いする。